

Fly Fisher

PISCATORIAL PURSUIT

Fishing Magazine TSURIBITO

70
Anniversary

フライフィッシャー
MONTHLY MAGAZINE
APRIL 2015 No.255

4

1,240YEN

長良川解禁レポート
春こそニンフ！
名手の一軍ニンフ図鑑
& ルースニングの基礎



職人たちの手仕事

メイド・イン・ジャパンの誇り

日本製品、革新の歴史

水谷理美容鋏製作所のタイイングシザーズ

フルックスのベストとN1ブランド

finetrack「遊び手＝創り手」

石井鉄工、精密の美学

がまかつのフライフック

C & F DESIGNのボックス探究

Marc Petitjean

マルク・プティジャン インタビュー



CDCをボディーに巻いてみた。
これがブレイクスルーになった。

年間約2万5000本を巻いて 生み出されたツール CDC自由自在。

世の中で、その真の意味において「イノベーター」の名に値するヒトは多くない。
そして、フライフィッシングの世界において成功した革新者とは
「必要なものが手に入らなかったから、しかたなしに作った」という点で共通しているように思う。
年初、国際フィッシングショーとフライフィッシング・ファンミーティングに
合わせて来日したマルク・プティジャンは、
もはやすべてが出尽くしたと思われるこの世界における、まれな革新者だ。

編集部=レポート
Reported by FlyFisher

**CDCを
ボディーに巻く発想**

フライフィッシャー(以下FF) なんと初来日でいらっしやるんですね。あなたのお名前はずっと、ティムコやスミス扱いの製品で見えていましたから、なんだか意外な感じがするのですが。

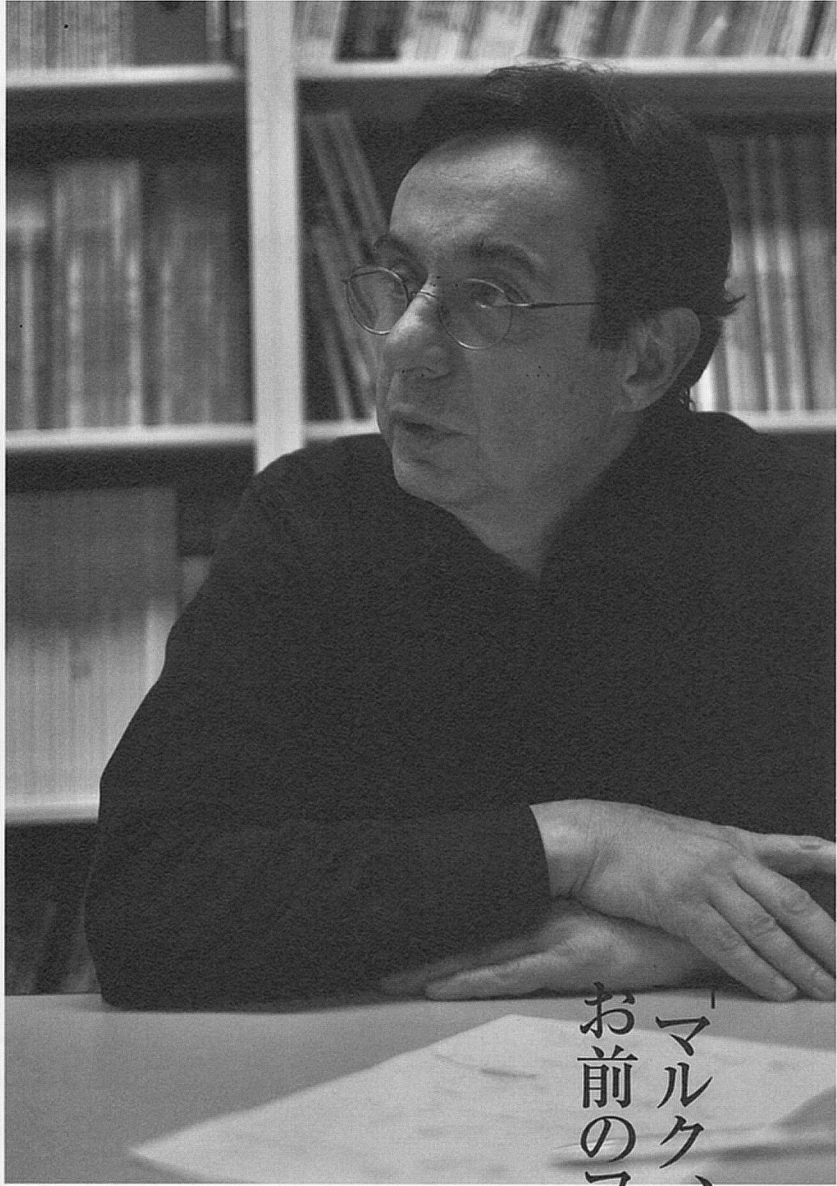
マルク・プティジャン(以下MP) そうなんだよ。でも日本とのゆかりは深い。1990年のエフテックス(欧州釣具見本市)で、ティムコの霜田俊憲さんと初めて会ったんだ。

FF あなたがベンダーで、ティムコが輸入業者ということですか？

MP いや、一方通行ではなく、双方向。私はプロタイヤーとして高品質なフックを捜していて、オリジナルの商品も販売したかったから。

FF もうCDCパターンは巻いていたんですか？

MP 巻いていた。霜田さんはすぐにフックのサンプルを持ってきてくれて、それから長いつきあいが始まった。私のオリジナルのベストも、ティムコが輸入してくれたね。「ひと目見ですぐに、あなたはいい人だと分かったよ」と言ってくれたのが記憶に残っている。FF 男の一目惚れ……それから、TMCフックを使ってタイピングするようになったんですね。CDCのことを、ちょっと詳しく教えてください。歴史的な背景は、一昨年の記事で教えてもらったのですが、個人的な歴史は落ちてしまっていたので。



「マルク、すげえのはお前じゃなくてお前のフライだ！」

フランスに生まれ、現在はスイス在住のマルク・ブティジャン。マジックツールの開発などによって、世界中のタイヤーに影響を与えた。

1日12時間
年間2万5000本

FF これ、すぐに雑誌とかに発表したんですか？

MP いやそうじゃない、生活の糧にした。1990年から2000年までの10年はフルタイムのプロタイヤーだったから、このノウハウは自分だけが使った。簡単に安全で、手早く効率的なフライを生み出せるテクニックが、生活のために必要だったんだ。インドやタイに外注するのではなく、自分が手を動かして質の高いフライを生み出したいと考えたから。

FF どれくらい巻いていたんですか？

MP 毎日休みなく12時間巻いて、平均で年間2万5000本くらいかな。

FF 過酷すぎる……メーカーが存在するのमुすごいですけど。

MP 最初はなかなか納得してくれなかったよ。ショップまで300km車を飛ばして、完成品フライ2ダースしか注文をくれない、なんてこともザラだ。こんな珍妙なフライ見たことない、釣れるかどうか分からないものはない、買えない、なんてね。

FF ドライフライのハックルファイバーなんて、カットしてはいけないタブーではないものか。

MP CDCはちぎってもカットしても問題ないんだけどね。

FF この素材は、イマージャーとか二フにも使っていますよね？

MP 沈めるものに使っているのは、

1994年くらいからかな。最初は雑誌で酷評されたよ。でも徐々に自信が出てきた。テストにはいろんな人に参加してもらったんだけど、2人の友だちとある日出かけた時のことは忘れない。CDCフライを使うと、他の人を安定してしのご結果が出始めたころで、気分がよかつたね。僕の腕もいいし、フライの性能も高い、理想の組み合わせだと思っていた。しばらく釣っていると、なぜか頭痛がしてきたので、友だちにボックス2式を預けた。僕は川原で横になって休んでいた。2時間くらいすると、彼らが息せき切つて戻ってきた。「マルク、マルク、すげえのはお前じゃなくてお前のフライだ！俺だつて入れ食いだ」つて。

FF はは。それ、半分くらい傷つきますね。

MP その半分の満足だけで、僕にとってはじゅうぶんな駆動力となつた。

FF CDC使いは、いまや世界中にいますけど、あなたはどの点が違ふと思いませんか？

MP 100%CDCを心がけているところだろうか。他の人は、たぶんウイングを中心としたパーツとしてCDCを使っているだけという印象がある。「CDCは浮かぬい」っていう人は、部分的に少しだけ使っている人だろ。しかし、自分にとってのブレイクスルーは、ほぼ不沈構造のボディーなんだ。極端に言えば、他のパーツはなくてもボディーだけで浮く。それがもたらしてくれる素材やデザインの自由度は、たいへんなものがある。

MP 1984年くらいだったかな。視力が極端に悪い友達からフライの製作を頼まれた。CDCの効果の部分的に知られ始めていたから、このマテリアルを使ってくれといわれたんだが、伝統的なフライだと視認性が悪い。カスタムでフライをデザインしてくれないかという依頼だった。

FF 以前の記事でビッケル、ジヨセ、ヴェヤのフライをはじめ、ジュラ地方で使われていたこの素材のことは紹介してもらいました。

MP 伝統的ハターンはだいたいCDCのハックルをばらりと巻いた薄いハターンで、繊細だけどあまりよく見えないものだよね。ハックルを厚くし

たりテイルに使ったり、いろいろやってみただがうまくいかず、ほとんどあきらめていたんだ。でも最後の思いつきで、CDCをボディーに巻いてみた。これがブレイクスルーになった。

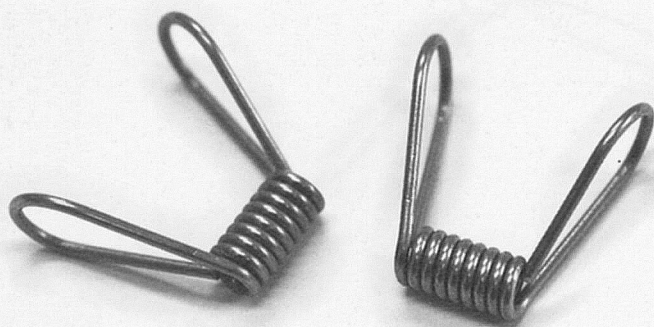
FF エウレカ！ たしかに、後からいわれてみればなんでもないこと。

MP それまでは懸命にハックルとテイルでフライを浮かそうと頑張っていたんだが、それが間違いだつた。最初はカディスで試して、それからメイフライ、ストーンフライその他にも応用した。斬新で、かつ効率的なテクだと思つたから、スウェーデンのヤコブセン、アメリカのマーティンといった当代一流とされているタイヤーたちに送つて

みた。ヤコブセンからは長い手紙が来た。「……今はまだ冬だが、晴れた日を探してお気に入りの川に出かけ、君のフライが入ったボックスを開こう。マスたちに、どんなごちそうを食べさせているか、目の前で見せてやるんだ……」。いいだろう、感動だよ。

FF 詩人ですね！ それにしても、ジュラの人たちにこのアイディアはなかったんですか。

MP 私が知る限り、ボディーは伝統的素材だけだ。あくまで推測にすぎないけれど、1985年くらいまでは、おそらく世界中でCDCのことを知っている人は、ジュラの人を含めて200人くらいだったと思う。



ループ クランプ

ダビングループの一部をとめておくために特別にデザインされたクランプ。これにより複数の素材を1つのループに入れることが可能だ。(2個セット)

プロタイヤーの知見は、
タイヤー全般にとって利があると思う。

浮かせるための テクニク

FF 話は少し逸れますけど、ほん
とになにもしなくて不沈なんです
か？

MP できればフロートは付けた
いよ。溶剤が入っているようなものは
避けないと、もともと含まれていたオ
イルが飛んでしまう。自分はCDCオ
イルをあらかじめポディーに薄く染み
込ませておくだけ。魚が掛かってフラ
イがヌルヌルになったら、水の抵抗で
取る。とくに#14から下のフライは、
絶対に指先では触らないようにして
いる。

FF どうやるんです？

MP まず、バワフルなタックキャスト
でフライから先に水に叩きこむ。数
秒間充分に沈めて、オーバーパワーな
サイドキャストでビックアップする。こ
れで復活だよ。10尾釣れても、フラ
イは問題ない。どうしても浮力剤を
付けなければならぬ時は、アマドウ
で水分を取ってから。

FF プロダクション・タイヤーとし
てのキャリアで、どんなツールを使っ

ていたんですか？

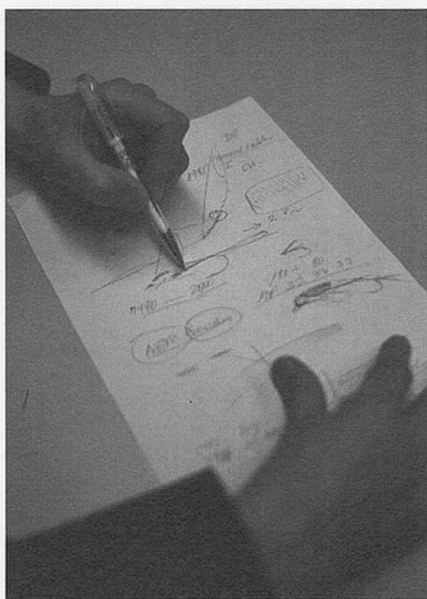
MP 最初はMHを使っていた。で
も、真のロータリーバイスではないし、
手を置くところもないから12時間同
じことをやり続けると、痛みが出て
きたり、嫌いになったりする。

FF 僕なんかそんなに長時間は巻
かないですから、分らないですね。
たぶん我慢しちゃう。

MP 使ってた分かったんだが、大量に
巻く人にとって、バイスのポディーや
ヘッドが細すぎて、手を掛けられない。
それに、実際に作業をする位置が机
上から20〜30cm上なので、とにかく
手に負担がかかる。

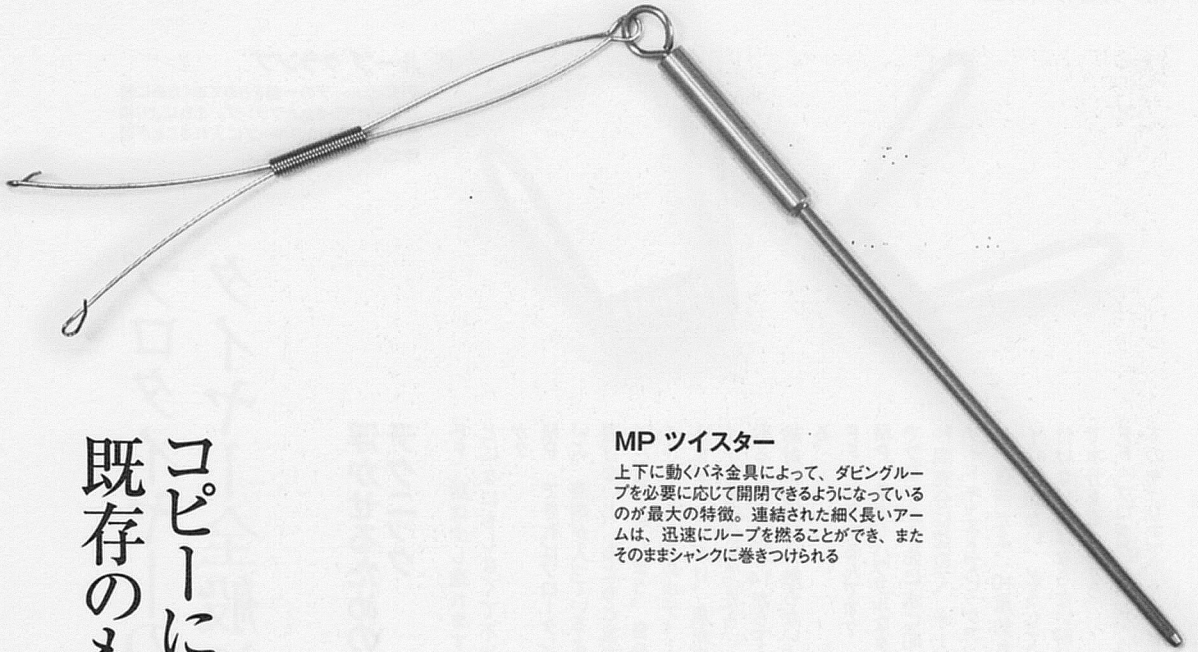
FF 僕もキーボード作業で生活し
ているので、人間工学的なポジション
には気を遣いますけど、たしかにタイ
イングの姿勢はちよつと不自然ですよ
ね。

MP もうあまり残っていないプロタ
イヤーというのはF1レーサーみたいな
もので、とてもシビアなニーズを感じ
ている。目指すものは、負担なく、
安定した高品質を、リラックスしてつ
くり出すということなんだけれど、
その知見はタイヤー全般にとって利が
あると思う。



MP プライヤー

CDCのためのハックルプライヤー。同時に
3枚のCDCフェザーに対応可能。この特
許システムは羽軸を傷めることなく、しっか
りとCDCを固定する



MP ツイスター

上下に動くバネ金具によって、ダビングループを必要に応じて開閉できるようになっているのが最大の特徴。連結された細く長いアームは、迅速にループを燃ることができ、またそのままシャングに巻きつけられる

効率と快適の追及 ツールの誕生

FF 最高のツール、ないしタックルの定義って、どんなものですかね？
MP 頭で考えることなく所期のパフォーマンスを発揮するもの、かな。たとえばこのハックルブライヤーは、CDCを捻ることを前提にグリッパ部の直径を決めている。巻き進めながら、つまんだ指を少しすり合わせるだけで、ちょうどよい締めりがフェザリーにかかるように考えたんだ。

FF 最もとは工学部とか理学部のご出身ですか？ さつとお描きになるスクッチからも理系を感じるんですが。
MP 畜産のほうなんだ。でも独学で旋盤作業を覚え、プロトタイプくらいは作れる。デザインにはCAD/CAMを使っている。ホビーから始めて、仕事になってしまったね。
FF それにしても、大量のCDCファイバーをフライに取り付けようと思ったら、昔はたいへんでした。
MP 1枚のCDCからファイバーをはがすためには、片側につき3回、合計6回に分けて指先でむしる。3枚使ったたら18回だよ。私もそうやっていったんだが、やっつけられなくなって。14年もそんな作業をやった後、2004年にマジックツールを作った。各地でデモンストレーションをしていると「ありがとう、あなたは私の

タイミングを変えてくれた」と言ってくれる人に会う。自分のニーズを理解してくれて、私のツールをその状況にはめこんで、快適なタイミングをしてもらえるのは素晴らしいことだと思う。見本市でよく顔を合わせるアンディ・レンゼッティは、自分のところよりも私のブースにいる時間が長いくらいだ。似たようなアイテムを製造販売しているし、彼の会社ははるかに規模が大きいけれど、アンディは私のことをライバルと考えていない。私の創造力を尊重し、同志だとみなしてくれているんだろう。
FF それにしても今回のデモでは、細かなポイントが発見がありました。やっぱり目の前でやっつけようと思いませんね。
MP お店で商品だけを見て使い方を想像するのと、じかに見せられるのとは大違いだね。説得力のあるプレゼンテーションというのは、対面デモンストレーションが最強だと思う。

コピーには興味がないし、既存のものを改良しようとも思わない。まず自分のニーズから出発して、そこからデザインするようにしているよ。そ



誰でも巻くのが 楽しくなるために

FF プティジャン・フィッシング・エ
クイブメント社は小さい会社なので、
社長も書類にサインをするだけが仕
事ではないと聞きましたが？
MP CDCの仕入れ、染色、仕分

けなんかはまだ自分でやっている。年
間に何十キロも仕入れるのは、1つ
の業者では無理なので、数多くのサ
プライヤを使っている。ただ、タイ
ピングに向いた質の高いものはなかなか
手に入らないよ。
FF 色も染めるんですか？
MP 会社とそのスペースがある。普
通の染料は油分を落とすとしてしま

し、熱湯は使えないから用心しない
といけない。酸を使わない方法で、ゆっ
くりと色を染みこませる。20日かか
る色もあるよ！
FF 今、ヨーロッパのタイピングシー
ンではどんなことが起こっているの
ですか？ 世界中のショーを訪れるあ
なたの考えはどうでしょう。
MP 情報共有が進んでいるから、
ヨーロッパだけではなく米国、さら
には日本でもいえるのかもしれないけ
ど、軽く長い、大きなプロフィールの
アトラクター・ストリーマーが増えて
きているようだね。ダビンググループは
確実に復活、定着してきている。ヨー
ロッパだとバイクやアトラティック・
サーモン用、北米だとスティールヘッド
だ。その動きに、私もうまくリンク
できていると思う。
FF なるほど。さつき巻いてもらっ
ていたフライですね(註…このインタ
ビューは「ファンミーティング」会場で行
なった)。それにしても、楽しそうにデ
モンストレーションされますね。年間1
00日もデモンストレーションやショー
に出ているのは、飽きてくるのでは？
MP 人に楽しんでもらえることの
喜びを感じるから、そんなことはない
いね。これまで、本当によい人たちに
出会えたことの恩返しもある。何か
疑問が生まれた時に、それに適切な
アドバイスや答えをくれた人たち、つ
まり師に恵まれたなあという実感は
あるよ。私のツールは、自分を含め
たハードなユーザーも対象だけれど、
あんまりタイピングする時間がないと
いう人でも使いやすく、効率的なよ
うにデザインされている。そういった
面での貢献は常に考えている。
FF ありがとうございます。やっぱり
りい人ですね。

マルク・プティジャンが巻いたCDC
パターンの数々。実は今回、編集部
では彼のタイピングを動画でも撮影。
6月号の付録DVDに収録される予
定なので、楽しみに！

